会員便り

日本結晶光学株式会社

【ごあいさつ】

このたびSEAJへ入会させていただきました日本結晶光学株式会社（略称：NK&K）です。

誌面をお借りして弊社の紹介をさせていただきます。

弊社は群馬県館林市で創業して以来半世紀以上にわたり単結晶育成技術をベースに光学結晶部材および検出デバイスの事業を営んでおります。現在は資本金9,000万円、従業員約140名。「世界でキラリと輝く日本結晶光学」をスローガンに中小企業ではありますが、業界では世界的に認知される特徴ある会社であります。

群馬県館林市　本社工場

【経営理念とビジョン】

弊社は「全従業員の幸福を追求し、価値ある商品によって人々の繁栄と平和に貢献する」を経営理念、モットーを「感謝、責任、成長・進化」としております。これらには、会社と従業員とが信頼関係を構築することで、より良い製品を世に送り出すことができ、それを通して人々の繁栄と平和に貢献できる。更に、お客様はもちろん当社に関係する全ての方々に感謝の気持ちを持ち、自らの責任を果たし、常に成長し進化し続けることで会社は永続的に発展して行ける、との思いが込められています。

スローガン「世界でキラリと輝く日本結晶光学」には、常にグローバルを意識し、技術と品質を通じて全世界から信頼される企業を目指す、そうなれるよう日々精進する、との信念を表しています。

【沿革と発展】

弊社は1973年に群馬県館林市で創業しました。1976年に館林市近藤町へ移転し、資本金を500万円に増資、その後も増資を重ね、1989年には三井金属株式会社が株主となったことで成長の基盤が確立しました。

2000年に米国子会社を設立し、2002年には上尾工場を新設。ISO14001（環境マネジメントシステム）、ISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）を取得し、品質・環境・安全の各面で国際的に認められる体制を整えました。

2019年に上尾工場をCaF_2単結晶専用に、館林工場をシンチレータ専用とする工場再編を実施し、効率的な生産体制が確立しました。2023年には米国営業拠点をサンノゼへ移転し、現地お客様との関係をより一層強化することが出来ました。

そして2024年に新株主の下、経営体制を刷新し、次なる飛躍に向けた新たなステージを迎えております。

【光学結晶事業】

弊社を代表する製品のひとつが高純度フッ化カルシウム（CaF_2）結晶です。CaF_2は紫外から赤外まで幅広い波長域で高い透過率をもち、半導体露光装置、レーザー装置、半導体検査装置をメインに、次世代の4K・8Kテレビや放送機器用の高精細レンズなどさまざまな分野で使用されております。

ArF・KrFエキシマレーザーに対応するグレードは、半導体の微細化技術に不可欠な材料であり、安定した品質と供給力で世界中のお客様から高い評価をいただいております。これからも半導体産業の伸長と共にお客様と発展成長できるよう精進して参ります。

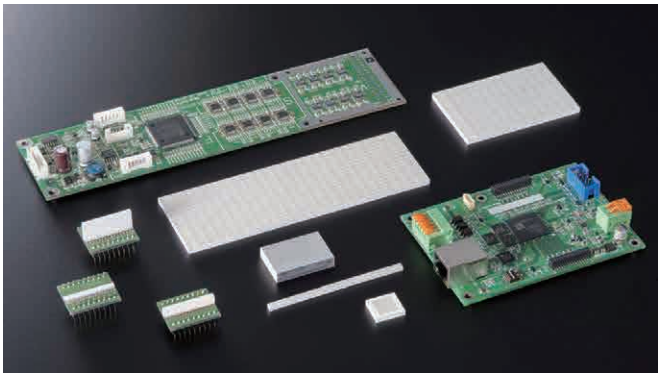
フッ化カルシウム単結晶

【検出デバイス事業】

弊社のもう一つの柱が、X 線検出デバイス事業です。主力製品であるタングステン酸カドミウム（$CdWO_4$：ＣＷＯ）シンチレータは、X 線を光に変換する性能に優れています。高品質のＣＷＯは育成が難しい材料として知られていますが、弊社は安定的に供給できる体制を整えております。

シンチレータと Si-PIN フォトダイオードを組み合わせたディテクタや、信号を増幅・A/D 変換する回路を内蔵したディテクタモジュールなど、幅広い製品群をご提供しております。

これらはセキュリティ検査装置、医療用 X 線診断装置、工業用非破壊検査装置などに用いられ、特にセキュリティ分野では、空港の預け荷物検査装置、国境の自動車･トラック検査装置、港湾のコンテナ検査装置に搭載され、世界の安全・安心な社会の実現に貢献しております。



$CdWO_4$シンチレータ、ディテクタ、ディテクタ モジュール

【多様なお客様ニーズに応える】

弊社の特徴は、お客様の多様なニーズに柔軟かつ迅速に対応できる体制を整えていることです。国内海外を問わず、お客様と直接対面でコミュニケーションを行い、お客様のニーズを把握し、それらを開発部門が受け取り、生産部門と密接に連携し、お客様にご満足して頂ける品質と納期で製品をご提供できる体制と仕組みを備えております。結晶育成、電子回路開発、モジュール組立まで自社で一貫して行えることが弊社の強みです。

お客様にとって良きパートナーとなれるよう現状に甘んずることなく、日々レベルアップをして参ります。

【社員と組織文化】

弊社では、社員一人ひとりが専門性を発揮しつつ、協調性を大切にし、働きやすい職場環境づくりに努めております。2024 年 12 月には「健康事業所宣言」を行い、健康経営を推進するとともに、安定した労使関係のもと、安心して働ける職場づくりを進めております。

また、地域社会との交流や CSR 活動にも取り組み、地元イベントへの協賛や教育機関との連携を通じて、地域に根差した企業としての責任を果たしております。

さらに、品質・環境・安全への取り組みにも注力し、製造工程における廃棄物削減やエネルギー効率の改善を推進、安全で安心して働ける職場づくりに日々取り組んでいます。

【最新動向と将来展望】

2024 年に中期事業計画を策定しました。将来を見据えた設備投資、組織強化、お客様との関係強化、新規事業の探索など課題はたくさんありますが、その実現のため全社一丸となって取り組んでおります。

半導体産業とセキュリティビジネスという全く異なる事業領域を併せ持っていることが当社の強みです。一方でどちらの事業も「結晶」と「光学」の共通の技術基盤を持っています。日本結晶光学という社名にある「光学」と「結晶」をキーワードに新規事業を探索し、ビジネス領域を広げて参りたいと存じます。

【まとめ】

日本結晶光学株式会社は 50 年以上にわたり、「光学結晶」と「検出デバイス」という二つの製品を軸に、社会に必要とされるソリューションを提供して参りました。これからもお客様や関係先、及び地域社会の皆様と協働して、持続可能な社会づくりに貢献して参りたいと存じます。

これからも「世界でキラリと輝く」企業を目指し、世界の人々の繁栄と平和に貢献できる企業でありたいと存じます。